

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 01月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数は適切である。	男性職員が多く、運動療育を実施することができる。 運動の内容は月毎に決めている。 その際、目標も設定して実施している。	男性職員だけではなく、 他の職員の間でも運動療育の共有を今以上に充実させる。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	多様な経験ができるようにイベントを計画している。 どの曜日の方もイベントに参加できるように調整している。	地域のイベント情報収集・地域イベントに参加や出店 フリーマーケットの実施・買い物経験等を今後企画していきたい。
3	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている。	SSTを中心とした取り組みを行っている。 児童が飽きることはないようにゲームをしながらSSTを 取り組んでいる。 目標を決めて実施している。	SSTの知識を深めていく。 今は特定の職員のみが実施しているので、 全職員が実施できるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定。保護者への周知・説明。また、発生を想定した訓練の実施。	保護者にマニュアルの提示ができていない。	ホームページにマニュアルの掲載を行う。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施。	訓練は行って連絡帳やSNSに掲載しているが、 保護者様に実施内容が行き渡っていない。	今後も連絡帳やSNSに掲載していき、保護者面談時に避難訓練の様子を口頭で伝えていく。
3	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援。	「安全計画」が必要であること自体を知らなかった。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、 防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定して 月2回は職員で点検をしていく。